

「メリデン版訪問家族支援」の活用

京都府保健所や一部訪問看護事業所等で始まった「メリデン版訪問家族支援」は、統合失調症や双極性障害を主な対象とする、世界で最も普及している訪問家族支援技術の一つです。

再発率低下のエビデンスがあり、本人のみならず家族一人一人の希望や目標を大切にするのが特徴です。

京都府が日本の公的機関としては先進的に同支援を取り入れ、京精診にとって身近な地域資源となりました。

当日は同支援の普及に尽力しておられる方々にその内容や必要性をうかがい、診療所からの連携と活用について考えます。

日 時： 2021年2月20日（土） 午後5時～7時

開催方式： Zoomによるリアルタイム配信

対 象： 京都精神神経科診療所協会会員および会員診療所従事者

参加費： 無料

*精神科専門医のポイント取得について（申請中）

<五十嵐達夫氏からのメッセージ>

はじめまして。

2018年4月からたかぎクリニックで勤務しております精神科医の五十嵐です。

一昨年7月と昨年3月に渡英しメリデン版訪問家族支援の研修(Family Work)を受けてきました。

今回”本人と家族をまるごと支援する”Family Workをご紹介します。

また京都市内で普及させるにあたって先生方からご助言を賜れば幸いです。

WEBではありますがお会いできるのを楽しみにしております。

<佐藤純氏からのメッセージ>

いつもお世話になっております。京都ノートルダム女子大学で精神保健福祉士の養成を担当しております佐藤純と申します。

この度はお時間を頂戴して精神障害のある人の「家族」の声をお届けできればと思います。

当日は、15年間家族会でボランティアで続けております。個別相談(本人のみでも、家族のみでも、本人家族合同でも可)や、精神障害のある人のきょうだいの集い、配偶者の集い、子どもの集いに参加する中で聞き取る、本人と「家族」の叫びにも近い声をお届けできればと思います。

これらの声に応えるために、それぞれの機関でできること、そしてさらに必要な取り組みについて、ひとつのご提案ができればと思っております。当日はどうぞよろしくお願いいたします。

17:00 開会 挨拶 川崎敦会長

17:10~18:35

「京都府における実施状況」 熊取谷晶氏(京都府健康福祉部障害者支援課)

「メリデン版訪問家族支援とは(内容紹介、実践状況の報告、課題)」 五十嵐達夫氏(たかぎクリニック)

「メリデン版訪問家族支援の必要性」 佐藤純氏(京都ノートルダム女子大学)

18:35~18:40 休憩

18:40~19:00 質疑応答

*事前申込が必要です。
スマートフォンの方はQRコードから



パソコンの方は[こちら](#)から申込ください